



子羊の勝利

兄弟たちは、子羊の血と、
自分たちの証しのことばのゆえに
竜に打ち勝った。
彼らは死に至るまでも
自分のいのちを惜しなかつた。
(黙示録12章11節)

天にある神様の御座の前に引き上げられたヨハネは、神様の手に小さな巻物があるのを見ます。そこにはこれからの世界の歴史を導く神様の御心が記されていますが、その巻物は7つの封印で閉じられていました。天にも地にもその巻物を開くことのできる者はいないことを知ってヨハネが激しく泣いていると、彼は語りかける声を聞きます。「泣いてはいけません。ご覧なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利したので、彼がその巻物を開き、七つの封印を解くことができます」(黙示録5章5節)。ヨ

ハネがその獅子を見ようと目を上げると、彼が見たのは獅子ではなく、屠られた姿で立っている子羊でした(6節)。

この箇所は黙示録のストーリーの中の一つのクライマックスであり、また黙示録全体と読み解くための鍵となる箇所でもあります。ユダヤ人たちは武力で異邦人の支配から自分たちを解放してくれる力強いメシアを待ち望んでいました。それはまさに獅子のイメージがふさわしい存在だったのです。けれどもヨハネが実際に目にしたのは、獅子とは似ても似つかない弱々しい羊、しかも屠られた姿の子羊でした。これは明らかに十字架につけられてよみがえったイエス・キリストを表しています。本当の意味でこの世の悪の力に勝利し、神の民を解放するのは武力ではなく、自己犠牲的な愛の力だ、ということです。そして、このようなキリストに従う教会もまた、同じ戦法で、すなわち愛によって悪に打ち勝つことを命じられているのです。

人類の歴史に戦いや争いが絶えたことはありませんでしたが、今日の世界でも悲惨な戦争が継続しています。物理的な暴力を使わなくても、経済力によって弱い立場の人々を搾取するようなことも、当たり前のように行われています。そんな世界の中で、今こそ必要とされているのは、子羊の軍隊です。それは悪に対して善をもって対抗し、暴力に対して愛をもって戦うキリストの兵士たちなのです。暗い時代にあっても気落ちすることなく、十字架の主イエス・キリストを証していきましょう。



リバイバルミッション顧問
**山崎ランサム
和彦**
Kazuhiko Yamazaki-Ransom



岐阜純福音教会主任牧師
小山健師

全日本リバイバル甲子園ミッション

30周年特別企画

対談

下條末紀子師×小山健師

活けるキリストー妻西宮教会初代牧師

下條末紀子師

小山健師(以下敬称略)

ハレルヤ!今回は全日本リバイバル甲子園ミッション30周年記念の企画として、下條末紀子先生と私、小山健が対談をさせて頂くことになりました。これから貴重なお時間を割いて頂いて、30年前の甲子園ミッションの時の様子を含め、30年の歩み、これからを含めてお伺いしたいと思います。

下條末紀子師(以下敬称略)

よろしくお願ひ致します。

小山 / 最初に先生から皆さまに一言ご挨拶を頂けますでしょうか?

下條 / 甲子園ミッションから30年が経つと言うことは驚くべきことです。私も早89歳となりました。今日はこのような時が与えられて主をほめ讃え感謝しております。

小山 / 甲子園での集会についてビジョンを持たれた経緯をお話し下さいませんか?

下條 / 私は1965年1月15日に名古屋から西宮の地に遣わされてまいりました。30歳の時でした。六畳一間のアパートから始まりましたが、そこにオープンバブルの和田寿恵松先生という方が訪ねて来て下さり、「この近くに甲山という山があり、その山に登ると西宮全市が見えるんですよ」と教えて下さり、甲山に登ったんです。その山は兵庫県6市1町全部が見渡せる場所で、その山の上で「神さまこの街の人々をお救い下さい。私のような者をお使い下さい」とお祈りました。その時ぱっと見た時に、この西宮市には甲子園球場がある事に気が付いたんです。その時に私は今は六畳一間のアパートだけれども、あの甲子園球場で人々がいっばいに座って、「このイエス様が天の下で唯一の真の救い主だ」と聞いて頂けたらどんなに感謝だろうと。真面目にそういう夢を持ち、祈り始めました。それから何年も何年も祈り続けていたのです。

1980年代でしたが、滝元明先生と田中政男先生がなさっていた日本リバイバルクルセード主催の愛知県民の森での教職者ゼミナールに参加するようになりました。その集会の中で司会をされていた田中政男先生が「いろんな先生方に証しを依頼されるのですが、毎回のように私に証しをするように言われるんです。何回かする中で、丁度ビリーグラハム先生が日本武道館に来られた後で心に残っていたのだと思いますが「私の夢は甲子園球場で日本の伝道者の先生が立て頂き、集会をすることです」と証しをしました。そしてまた次の年もその証しをするつもりではないのに、甲子園の話をしたんです。その時に滝元明先生の心が動かされたらしいんですね。そしてその集会が終わって帰ってから滝元明先生から手紙が来たんです。「甲子園でやりましょう!今すぐでは駄目ですが、やがて、やがてでは終わってしまうから、5年後にやりましょう」という手紙でした。私はそれを読んだ時、膝がガクガクして恐ろしくなりました。

しかし滝元先生は本当に祈られて、甲子園球場で

の集会を真面目に受け止めて開催するように決められたのです。

小山 / 下條先生が祈り始められたのが1965年ですからほぼ30年後に実現に至ったということですね。

下條 / そういえばそうですね。

小山 / 丁度今回は甲子園からさらに30周年ですが、実際に祈られてきた甲子園ミッションが開かれ、その光景を目の当たりにされた時にどのように思われましたか?また甲子園ミッションまでには様々な戦いがあったかと思いますが、その辺りはいかがでしたか?

下條 / 言葉では言い表すことが出来ませんが、やっぱり滝元明先生が日本のリバイバルのために命をかけて日本中を駆け巡って伝道して来られて、祈り続けておられた器を神さまが祈りに応え、私のような者の発言をきっかけにして実現に至らして下さったのだと思います。

神さまが実現に至らせて下さる途中で、私が特記すべきことは、1992年2月に愛知県民の森でご長男の滝元順先生と何名かの方達が徹夜で祈りをしておられた時に、それこそ見える形で激しい風のような音がして、聖霊様が訪れて下さったことが大きな出来事だったと思います。これをなくしては甲子園ミッションは出来なかったと思います。

それから「組織や委員会ではなくて、第一サムエル記にある“心動かされた勇士によって”と滝元明先生がおっしゃって、日本中に呼びかけて、協力して下さる教会やクリスチャンと共に5年間の準備がなされていきました。1991年頃からよ甲山に登っての祈りがさげられ、徹夜祈禱会や多くの祈り会が開かれ、全国のプロテスタント教会にニュース誌を送ったり、多くの方々が奉仕をして下さいました。多くの聖徒達の祈り、世界の人々の祈り、そのような祈りの結集が形になったのだと思います。

大会の当日に、ある先生が立って話された言葉が忘れられません。「皆さん。息がしやすくないですか?」本当に聖霊様の風がそこに吹いていましたね。

小山 / 30年近く続けられた祈りと共に、全国で日本の宣教のために祈り支える方々のその思いがひとつとされて、甲子園の場所に現された働きでしたね。

先生ご自身は開催地が地元西宮でしたから、準備の面でご苦労されたことも多かったと思うのですがその辺りはいかがでしたか?

下條 / 苦労ってね。確かに戦いはありましたが、楽しかったんですよ。私たちの教会も甲子園一色でした。教会には葬式も結婚式もあるし、病気の人もあるし、礼拝や祈禱会もいろんなことをやりながらですが、教会が一丸となって突入していった感じでした。

私たちの教会では、大会の5年前から甲子園ミッションのために大きな献金箱を作って、1階のロビーのところに据えて、「甲子園ミッションのために献げましょ

う」と言って、とにかく経済的の必要のために教会員が心を込めて献げて下さいました。それから甲子園ミッションの時には海外、全国から先生方も来られるから宿泊所も必要なのですが、丁度その時に甲子園球場の隣に都ホテルが建設されるという情報が入ったので、私はすぐに電話をかけて「11月5・6・7日はうちで全館をお借りします。」と言って契約したんです。そして海外や県外から来られた先生方に泊まって頂きました。今から思うとそういうお金も教会に与えて下さいましたね。

とにかく伝道のために出来る限りのことはしようとやりましたが、その時から始めた西宮の町への教会ニュース配布や、希望のダイヤルは今も続いています。

小山 / 私たちの教会にも滝元先生や田中先生が何度も来られ、甲子園当時小学6年生だった私も、ものすごい期待をもって楽しみにして行きました。私は甲子園でふたつ印象に残っていることがあります。ひとつは本当に球場が賛美で満ちあふれ、人々でいっぱい、決心で前に出て行かれる方々の光景で、もうひとつは、バスで岐阜から甲子園へ行ったのですが、駐車場に着いた時に、田中政男先生が遠い駐車場まで来て下さって「岐阜の皆さんよく来て下さいました」と迎えて下さり、そして会場の入り口では滝元明先生が出迎えて下さいました。お忙しい先生方なのに本当に謙遜な方々だったな、と30年経っても忘れられない思い出です。

下條 / 本当にその通り謙遜な先生方でした。

リバイバルというのは、やっぱり一人一人が新しくされていき、聖書の言葉を祈って語る時に、人々は救われていく。十字架を仰いで悔い改めた人々が起こされ、献身して、福音のために立ち上がっていくことだと思っています。そして神さまが建て下さった教会を通して神さまが御業を進めて下さり、キリストの体である教会が成長し、どんどん増えて行く事が大事だと思います。そのために教会の体の一部であるクリスチャンである私たちが本当にみことばによって成長し、聖霊によって用いられていくことだと思います。

小山 / 最後に私たち次世代である若い世代に励ましのメッセージを頂けますか?

下條 / 今の若い方々が本当に聖霊に満たされみことばに立って前進して行って頂きたいと思っています。この日本を変えて下さるリバイバルは必ず来る。次世代の方が重荷を担っていると信じています。頑張るとかではなくて、聖霊に導かれて進んで行っていただきたいと思っています。

小山 / アーメン。先生ありがとうございました。

※今回のニュース誌上では誌面の都合上、抜粋した内容をお届けしましたが、インタビューの全編をリバイバルミッション YouTubeチャンネルにてご視聴頂けます。ぜひご覧下さい



リバイバルミッション
YouTube



あなたの教会でGOTOミッションを開催しませんか？

GOTOミッションの特色

一流の賛美と聖書の言葉をセットでお届けします。

国内外で活躍している一流アーティストによる賛美と、日本を駆け巡っている伝道者が聖書のみことばをストレートに語ります。

費用は集会時の席上献金のみ

講師ゲストの謝礼、宿泊交通費などの心配は不要です。教会の負担を極力削減します。

カラーのチラシを500枚まで無料で提供

集会案内のチラシを無料で作成します。必要があればPDFや画像も提供しますので、ホームページやSNSでも宣伝が簡単です。

全国の祈りの勇士が祈りのサポート

ニュース誌やリバイバルミッションのホームページSNS等でも集会を告知しますので、全国の祈りの勇士が祈り支えてくださいます。

ネット配信もお手伝い

今や教会でも当たり前になりつつあるネット配信ですが、この3年間で否応なしに蓄積された技術で、必要に応じてYouTubeなどの配信もお手伝いさせていただきます。

7月の開催スケジュール

東北・新潟地区 ゲスト/Duo B→Z◎メッセージ/平岡修治

7月28日 [金] 19:30~宮城・つばめさわキリスト教会

7月29日 [土] 14:00~山形・フルゴスペル山形教会

7月30日 [日] 10:30~新潟・長岡聖契キリスト教会 16:00~新潟・浦佐キリスト教会

2023年開催予定のスケジュール

四国地区/9月15日[金]—18日[月]

ゲスト/中村匡◎メッセージ/平岡修治

関東地区/9月23日[土]—24日[日]

ゲスト/井草聖二◎メッセージ/平岡修治

北海道地区/10月6日[金]—9日[月]

ゲスト/チェ・ヨンドウ◎メッセージ/平岡修治

九州地区/11月2日[木]—5日[日]

ゲスト/中村匡◎メッセージ/平岡修治

沖縄地区/11月22日[水]—26日[日]

ゲスト/安武玄晃◎メッセージ/平岡修治

- ・スケジュールは変更することもあります。
・上記以外の日程も可能です。
・移動などの関係でご希望に添えないこともあります。

お問合せ・お申し込み リバイバルミッション事務局まで

0120-291-372

office@j-revival.com

7/20:00~ 21金

Wakamono Worship Wave

リバイバルミッションYouTubeチャンネルより生配信 「すりだぶLIVE 夏~愛します、イエス様~」

3ヶ月に1回の賛美集会！愛するイエス様を求め愛を宣言し力強く共に賛美を捧げましょう。またすりだぶメンバーから証も語られます。ぜひご参加ください！



「ワカモノのギモン~牧師先生に聞きたい!~」

若者クリスチャンから疑問を集め、並井キリスト福音教会の神戸輝明先生が答えるQ&Aコーナーがもたれ、現代のクリスチャンなら誰もが悩んだことのあるギモンに対してみんなで考え祈る時間となりました。またギモンを持つこと、に対するメッセージも神戸先生より語っていただきました。様々な問題に直面することも多いですがその中で主を求めるところを改めて教えられ、熱く深い学びのある集会になったことを感謝します！

5月のすりだぶ報告



ハイブリッド開催

霊的戦い専門課程第11期 Vol.10 2023年7月24日[月]—25日[火]

講師/滝元順、鈴木陽介 他

会場/リバイバルミッションセンター 愛知県新城市富沢407-1

受講料/8,000円(受講料は年間一括払いも可能です)

宿泊・食事代/5,000円(1泊2食+朝軽食付)

*和室の相部屋料金です。個室や近隣ホテルの宿泊をご希望の場合はお問合せください。

*ネット配信予定→8月7日(月)~9月末まで視聴可能です。

*後日ネット配信での受講も可能です。会場での受講者にも配信視聴URLをお送りします。



Zoomdeフェロシップ6月のお知らせ | 参加費無料!!

Zoom deフェロシップは、参加費無料でどなたでもご参加頂ける、クリスチャンの交わりの場として提供させて頂いています。ぜひご参加下さい！

●お申し込みはホームページまたは事務局にお電話でお申し込み下さい。

ユースフェロシップ ワカモノークルーム#17

10~30代のワカモノが集う信仰のことや神様のこと何気ない雑談など楽しく話していきましょ！なためご参加ください。

- アドバイザー/平岡新人[サーバントチーム]
●MC/杉浦美紀、瀧元栄主、田中咲

今月のZoom配信日時 7月3日[月] 20:00~

ユースフェロシップ専用申込メール▼ suridabu.rm@gmail.com

韓国語フェロシップ

シンガーで牧師のチェ先生が毎月新しい韓国語の賛美を紹介して下さいます。また曲の歌詞や、簡単な韓国語をレクチャー。新しい方、韓国語全くの初心者も大歓迎です。

- 講師/チェ・ヨンドウ

今月のZoom配信日時 7月11日[火] 20:00~

リバイバル聖書神学校 OBフェロシップ

7月は「ポストコロナの宣教」をテーマに意見交換をして祈りを中心に開催します。

- 司会進行/田中進・平岡新人[サーバントチーム]

今月のZoom配信日時 7月25日[火] 20:00~

●お申し込みはホームページまたは事務局まで

Calendar grid with dates and event details for July, including logos for Zoom de F, Waka Mono, and other organizations.

Pray for Revival スペシャル in Tokyo



ハイブリッド
集会

この国のいやしと救い、
リバイバルを求めて祈る!

2023年8月10日[木] 朝11:00~12:30

会場/お茶の水クリスチャンセンター416号室
東京都千代田区神田駿河台2丁目1

メッセージ/金子道仁師

特別賛美/堀井ローレン

※集会参加の事前の申し込みは必要ありません。PFRが視聴できます



国会議事堂
とりなし祈禱

国会議事堂で
国政のためにとりなし祈ろう!

集合時間/13:45(時間厳守)

集合場所/国会図書館前タクシー乗り場近く(永田町駅2番出口より)

※国会議事堂とりなし祈禱につきましては事前のご登録が必要です!

定員/50名

申し込み締め切り/7月24日[月]

お申し込み/お名前、年齢、性別、教会名、
当日連絡先を事務局までご連絡下さい。

お申し込み先/リバイバルミッション事務局

お申し込みQRコード



7月 Pray for Revival

見よ。主の目は主を恐れる者に注がれる。その恵みを待ち望む者に。[詩篇33篇18節]

2023年7月13日[木] 朝10:00~11:30

メッセージ/チェ・ヨンドウ(韓国・シャローム教会牧師)

特別賛美/井草聖二

※祈りのリクエストは、
revivalmission.pray@gmail.com



祈りの 課題

- ・日本にリバイバルが起きるように。
- ・日本の暗闇が打ち砕かれるように。
- ・日本が自然災害から守られるように。
- ・日本の全教会が祝福されるように。
- ・牧師先生に油注ぎがありますように。
- ・健康を害しておられる方々が癒されますように。
- ・リバイバルミッションの働きが祝福されますように。

●会計報告2023年4月度

いつもリバイバルミッションのためにお祈りご支援くださり、心から感謝いたします。新年度がスタートしました。皆さんの多くのご支援で支えられていますが、今月は報告のように繰り越しもマイナスになり、かなり厳しい状況にあります。その中ではありますが、Go To ミッションやイベントなど対面の集会でたましいの飢え渴きを直に感じています。7月には久しぶりに専門課程も対面とのハイブリッドで開催される予定です。いろんなアイデアを主から頂きながら、日本の宣教の現状から目を背けることなく戦い続けることが出来るように、今後も引き続き皆様のお祈りとご支援を何卒よろしくお願ひします。

●献金送付先.....
三菱UFJ銀行/名古屋営業部 普通 2569313
ゆうちょ銀行/振替口座 00860-0-33814
クレジットカードによる献金 <http://j-revival.com/rm/card/>



収 入		支 出	
前月繰越金	346,426		
一般献金	1,313,439	事務運営管理費	1,074,619
集会献金-参加費	0	一般旅費交通費	21,965
国内宣教指定	582,800	通信費	454,295
世界宣教指定	11,700	印刷費	378,136
霊的戦い部門指定	49,700	国内宣教諸経費	549,254
ざわめき指定	336,524	集会諸経費	209,000
		霊的戦い諸経費	31,706
		ざわめき諸経費	374,997
		銀行借入返済	349,956
収入合計	2,294,163	支出合計	3,443,928
		次月ミッション繰越金	-803,339



フリーダイヤル ☎0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
✉office@j-revival.com
URL: <http://www.j-revival.com>

※次回7月号のニュースは7月23日(日)発行予定です。



リバイバルミッション情報
祈りのLINE登録してお祈りください!



リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します!
◎友達登録方法...「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録



それぞれフォロー、登録して下さい。
Facebook, Instagram, Twitter, YouTubeのアカウントがあります。